

交通死亡事故抑止対策事業費

高齢者交通事故防止対策事業費

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

道内の交通事故死者の半数以上を高齢者が占めていることから、道、道警察、市町村が協力し、地域経済団体（商店等）・交通安全団体等との連携のもと、地域に住む高齢者が交通事故に遭わない・起こさないよう各種交通安全対策等を実施する。

実施場所 道内市町村

対象者 高齢者

開始年度 平成22年

予算 800 千円

実施内容

（ア）シルバーアドバイザーの店推進事業

道警察、市町村、商工会、商店街組合などと連携し、高齢者の訪れやすい店や事業所を「シルバーアドバイザーの店」として登録し、店頭などで高齢者へのひと声アドバイスを実施する。

（イ）チラシ及び夜光反射材の配布

交通安全のポイントを記載したチラシを作成するとともに、各種街頭啓発時に夜光反射材を高齢者へ配布する。

URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/cak/koutsuu/senior/adviser.html>

運転免許自主返納促進事業

直轄事業

実施目的

道内の交通事故死者の半数以上を高齢者が占めていることから、高齢者の交通事故防止を図るため、高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境づくりを推進する。

実施場所 道内市町村

対象者 高齢者

開始年度 平成22年

予算

実施内容

(ア) 北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度

高齢運転者の運転免許返納を支援する「北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度」の協賛事業者の募集及びサービス情報等を道民に広く周知する。

(イ) 高齢運転者支援講習会

高齢者及びその家族に対し、免許返納後の生活も考慮した講習会を実施する。

URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/cak/koutsuu/senior/hennou-support.html>

高齢者の交通事故防止事業

高齢者

補助事業 (公社) 北海道交通安全推進委員会

こども

中高生

実施目的

道内の交通事故死者の半数以上を高齢者が占めていることから、市町村を始め関係機関・団体と連携のもと、各種交通安全対策等を実施する。

実施場所 道内市町村

対象者 高齢者及び道民一般

開始年度 平成16年

予算 68621 千円

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

実施内容

(ア) 世代間交通安全交流事業の開催

高齢者の死亡事故が多発している市町村を重点に、高齢者を始めとして、子どもやその親が世代の垣根を超えて相手への理解と思いやりを深めながら自ら参加し、考え、学ぶ交流事業で、高齢者が多数参集する機会を利用して、高齢者に夜光反射材の有用性と効果を体験していただく実演会などを実施し、反射材の普及促進や安全意識の高揚を図る。

(イ) 高齢者交通事故防止推進事業の実施

会員である市町村交通安全推進委員会等が主体となって実施する高齢者の交通事故防止を図る事業に対して、予算の範囲内で必要経費の一部を助成する。

URL <https://www.slowly.or.jp/>

交通死亡事故抑止対策事業費

北海道交通安全指導員連絡協議会事業補助

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

補助事業 北海道交通安全指導員連絡協議会

実施目的

街頭での歩行者等の指導、その他交通安全運動を実践している交通安全指導員の全道組織である北海道交通安全指導員連絡協議会に対し、事業費を助成し、当該団体の育成を図る。

実施場所 道内市町村

対象者 道民一般

開始年度 平成5年

予算 10079 千円

実施内容

- ・交通安全指導員ブロック研修会の実施（全道4ブロック）
- ・新任指導員研修会の実施（総合振興局地区毎）
- ・交通安全指導員の被服等整備

URL <https://www.slowly.or.jp/publics/index/76>

自転車の交通事故防止事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

補助事業 (公社) 北海道交通安全推進委員会

実施目的

自転車による交通事故が懸念されることから、自転車は車両であるとの意識の定着を図るとともに、小中高生及びその保護者に交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかける。

実施場所 道内中学校・高等学校

対象者 小学生、中学生、高校生

開始年度 平成22年

予算 68621 千円

実施内容

(ア) 自転車安全啓発リーフレットの配布

自転車利用が活発になる新小学生、新中学生及び新高校生を対象に、自転車安全利用、罰則や損害賠償を伴った交通事故の事例、社会的責任等、児童や生徒を始めとして、その保護者や指導者にも役立つ内容を盛り込んだ自転車安全啓発リーフレットを作成・配布し、交通安全意識の高揚を図るほか、損害賠償責任保険等の加入を促進する。

(イ) 自転車安全利用の啓発活動の実施

関係機関・団体と連携して、交通安全運動期間や自転車安全日等において、交通安全旗の掲出による街頭啓発活動の実施、市町村・学校で開催する交通安全教室に自転車向けの交通安全ビデオ・DVDを貸し出す等して、自転車の安全利用及びマナーの向上を呼びかける。

URL <https://www.slowly.or.jp/publics/index/180>

サイクルサテライトキャンパス

直轄事業

実施目的

道内において、自転車が被害に遭う交通事故のうち、高校生の自転車利用者の割合が高く、また、被害に遭った高校生の自転車利用者のうち、約2割に法令違反が認められる現状であることから、自転車の安全利用に関する知識の習得や規範意識の向上など交通事故抑止を図ることを目的として、高校生等対象の講習会を実施する。

実施場所

道内中学校・高等学校

対象者

高校生

開始年度

令和6年

予算

実施内容

団体・企業と連携して、自転車の安全利用に関する知識の習得や規範意識の向上などを目的とした高校生対象の講習会を開催する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通死亡事故抑止対策事業費

飲酒運転事故防止対策事業

直轄事業

実施目的

北海道では、飲酒運転が後をたたないことから、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の制定を契機に、道民が安全で安心して暮らすことができる社会の実現を図るため、飲酒運転根絶に関する取組を実施する。

実施場所

道内市町村

対象者

道民一般

開始年度

平成28年

予算

2181 千円

実施内容

- ・市町村教育委員会と連携した児童・生徒向け飲酒運転根絶教育パンフレットによる交通安全教育の実施
- ・飲酒運転根絶啓発用チラシの作成・配布

URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/cak/koutsuu/sdd/konzetsu.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通死亡事故抑止対策事業費

飲酒運転根絶対策強化事業

直轄事業

実施目的

「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の制定から10年を経過したが、飲酒運転の根絶には至らないことから、道民が安全で安心して暮らすことができる社会の実現を図るため、飲酒運転根絶に関する取組を強化する。

実施場所

道内市町村

対象者

道民一般

開始年度

令和7年

予算

2161千円

実施内容

(ア) 飲酒運転根絶ワークショップの開催

全道各地において、自動車運転歴が浅く、飲酒を始める年齢となる若年層を対象として、飲酒運転の危険性に関する講話、飲酒状態の疑似体験及び飲酒運転による交通事故を題材とした防止方策の討議・発表を通じて、飲酒運転根絶に向けた行動の実践を促すためのワークショップを開催する。

(イ) 飲酒運転根絶シンポジウム

飲酒運転の背景や飲酒運転根絶に向けた具体的な行動について考えるシンポジウムを開催する。

URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/cak/koutsuu/sdd/konzetsu.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

飲酒運転事故防止対策事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

補助事業 (公社) 北海道交通安全推進委員会

実施目的

北海道では、飲酒運転による死亡事故が後をたたないことから、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の制定を契機に、道民が安全で安心して暮らすことができる社会の実現を図るため、飲酒運転根絶に関する取組を実施する。

実施場所 道内市町村

対象者 道民一般

開始年度 平成28年

予算 68621 千円

実施内容

- ・地域で飲酒運転根絶の取り組みを担う人材育成のための研修会の実施
- ・道民・企業等の意識向上のため、飲酒運転根絶の日（7月13日）行事の開催
- ・飲酒運転による人身事故を起こした人の年齢層を踏まえ、対象者を絞り込んだ啓発活動を、大学、地元企業、メディア等と連携し展開

URL

<https://www.slowly.or.jp/publics/index/117/>

飲酒運転根絶見廻り隊

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

補助事業

実施目的

北海道では、飲酒運転による死亡事故が後をたたないことから、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」の制定を契機に、道民が安全で安心して暮らすことができる社会の実現を図るため、飲酒運転根絶に関する取組を実施する。

実施場所

道内市町村

対象者

道民一般

開始年度

平成28年

予算

10079 千円

実施内容

全道の交通安全指導員会が飲食店・コンビニ等のアルコール提供店舗等を見廻り、来店客や従業員等に飲酒運転をしない、させないよう声かけ等の働きかけを行う。

URL

交通死亡事故抑止対策事業費

居眠り運転事故防止対策事業

直轄事業

実施目的

北海道の死亡事故の原因として、全国と比べ正面衝突事故、車両単独事故の割合が高く、その原因として、夏期を中心に疲労からくる居眠り運転や覚低走行（居眠りと同レベルに注意力が低下した状態）があるとの結果を踏まえ、啓発事業を実施する。

実施場所

道内市町村

対象者

道民一般

開始年度

平成23年

予 算

339 千円

実施内容

居眠り事故防止についてラジオスポット等による広報活動

URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/cak/koutsuu/koutsuuanzen/download.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通死亡事故抑止対策事業費

交通事故相談所運営費

直轄事業

実施目的

専任の交通事故相談員が損害賠償の請求等について面接相談や電話相談に応じるほか、道内6箇所にある総合振興局の交通事故相談所で巡回相談を行うことにより、交通事故被害者等の救済を図る。

実施場所

道庁、各総合振興局

対象者

道民一般

開始年度

昭和42年

予算

521 千円

実施内容

(内容)

庁内相談、巡回相談

(方法)

- ・本庁での面接相談や電話相談
- ・各総合振興局（空知、渡島、上川、オホーツク、釧路、十勝）での巡回面接相談

URL

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/cak/koutsuu/consult/soudan.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他